

全国の主要書店で発売中!

「きょうだい

—障害のある家族との道のり—

- 定価 1,890 円 (本体価格 1,800 円+税)
- A5 判/並製/ 290 ページ
- ISBN978-4-8058-3374-2 C3036
- 中央法規出版 発行 2010年9月下旬発売

【著者紹介】

白鳥めぐみ

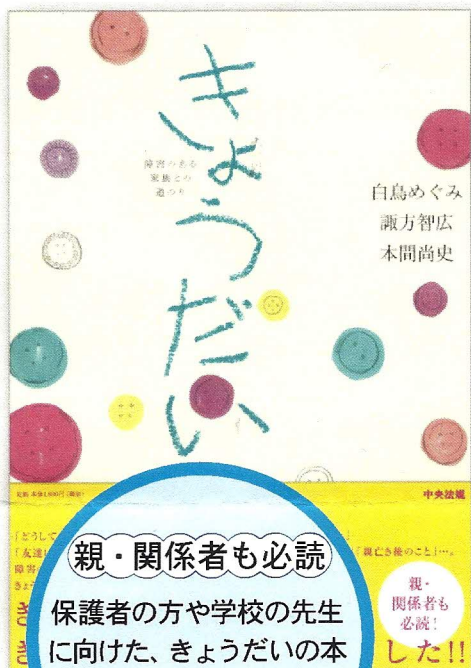
ななかま井プロジェクト (旭川市きょうだいの会) 代表
横浜市療育センターソーシャルワーカー

諏方智広

きょうだいの会横浜代表・横浜市立学校教諭

本間尚史

きょうだい会札幌代表・札幌市立学校教諭



親・関係者も必読

保護者の方や学校の先生
に向けた、きょうだいの本
音コラムを掲載。福祉・
教育・医療関係者も
必読の書!

親・
関係者も
必読!
した!!

「きょうだい」とは・・・?

「きょうだい」とは、障害のある兄弟姉妹のいる人のことです。

子どもの頃はもちろん、大人になってからも、特有の想いを抱えて過ごしています。

本書は、「きょうだい」が抱えることの多い疑問や不安、悩みなどを、年代別に具体的なエピソードで示し、それぞれに解決のヒントやアドバイスを贈る、「きょうだい」による「きょうだい」のための本です。

目次 (抜粋)

学校に入るまで

どうしていつも一人で待たされるの? / どうして弟はお話しできないの? ほか

小学生から中学生

弟のぶんまでがんばらないといけないの? / 仲間はずれがこわくて一緒にからかった ほか

高校生から大学生

福祉にはかかわりたくない / 友達には自分から話すべき? / 落ち込んでいる親を見ていてつらい ほか

大人になってから

家族だからできること・できないこと / 親亡き後を考えはじめる / 結婚相手にはいつどう伝える? ほか

◎コラム◎

■お父さんお母さんへ「きょうだいだけの特別をください」 ■誰かが教えてください「障害っていったいなに?」

■お父さんお母さんへ「いい子であることを求めないでください」 ■一般の人へ「じろじろ見ないでください」

■学校の先生へ「学校で配慮してほしいこと」 ■兄弟姉妹を亡くしたきょうだいへ「弟が亡くなったとき」

※お求めはお近くの書店へお願いいたします

中央法規出版 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-36-1オダカビル2F (販売促進課) TEL03-3379-3862 FAX03-3375-5054